

Table with 10 columns (A-J) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).

荒川流域 一斉水質調査 マップ

入間川水系

実施日：1997年6月8日(日) AM10:00 開始
※COD, Ph, NH4 などのカッコ内数値は昨年9月8日調査数値
※地図内の○はCOD値 (mg/L)
(ABCは位置参照用、明記してない場合もあります。)
○=0~5 ●=6~10 ●=11~20 ●=21以上
* = NH4 2以上 * = NH4 5以上
荒川水系は裏面

Table with 13 columns (A-M) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).

Table with 3 columns (L-N) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).

Table with 11 columns (A-K) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).



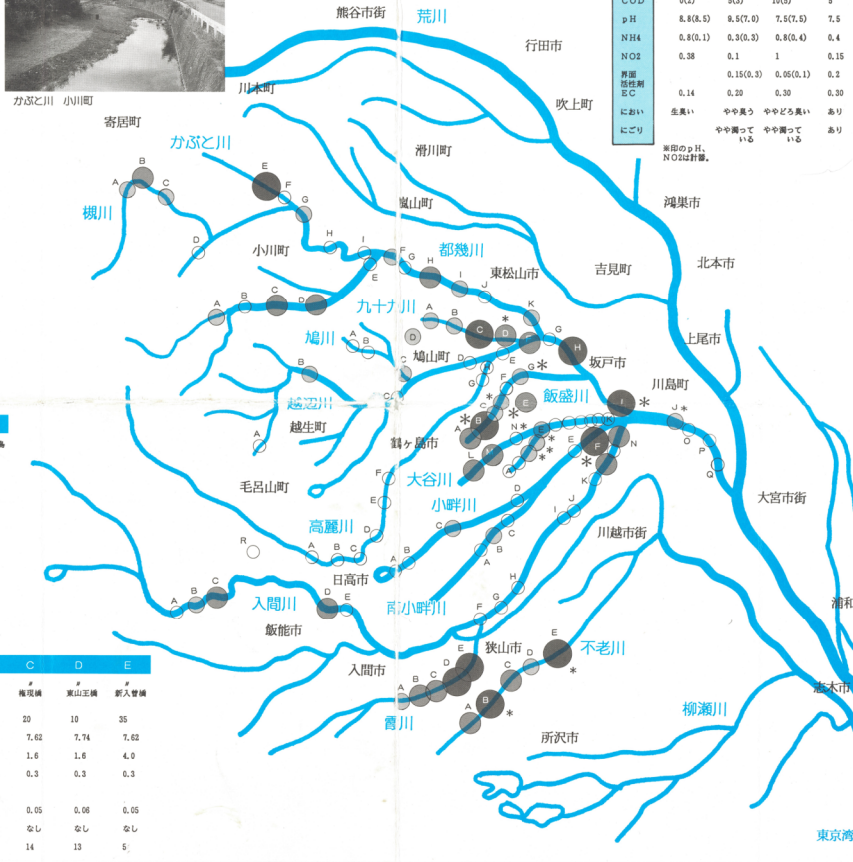
かぶつ川 小川町 寄居町

Table with 4 columns (A-D) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).

Table with 10 columns (A-J) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).

Table with 7 columns (A-G) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).

Table with 7 columns (A-G) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).



水質調査の概要

昨年との客観的な比較は、今年の調査時期が田植え期の6月で、昨年の9月と大きく異なるため、不可能とみられたが、全体のデータは、それほど大きな違いを示さず、汚い所はやはり汚いという結果を示した。また、今年、調査の項目(ECなど)が増えたため、さまざまなポイントから調査内容を分析できた。水質の汚れを示す代表的な指標、CODを中心に概要をみてみたい。

- 荒川本流では今回初めて、鉄道の土流から、東京湾に注ぐ河口近くまで全線を調査することができた。鉄道地域では、昨年9月での水量不足に比べ、今年は水量がかなりあったことにより、観測水質はきれいとなった。しかし、寄り道から生活排水が入りこみ、COD数値が徐々に増し、熊谷では着目を示し、さらに利根川からの武蔵水道が入ると、なおきれいとなっているもの、県庁、東京になると、さまざまな汚れた都市河川が入ってきて、水質が悪化していくのが解れている。
- このことは、本流ばかりでなく、主な支流の越前川、都幾川、高麗川、入間川でも同傾向を示しており、下流に行くに従って生活排水が再汚染していく、特に今年に入間川、越前川は、その傾向が目立っている。入間川は、昨年COD2.0が越前川との合流地点の下流で観測され、調査者が驚いて再調査したことがあったが、今年も同じような結果を複数の箇所でも確認され、できれば追調査を実施していく計画である。荒川流域は、全体的に今年は汚れが目立ってきており、これらの河川水が合流して、県民、市民の水道水となっていることから、より積極的な浄化を施行していかねばならない。
- 本流本流に入る上尾市の荒川、また大宮、浦和市を流れる鴨川、さらにその他の都市河川は、CODをはじめ、NH4、NO2、男性汚濁性指標などでも汚染を示しており、個所によっては、COD1.0、5.0、3.0、2.0を出し、生活排水の汚れが顕著に出ている。これらの河川は、大部分が三面汚染で覆われており、観水とはほど違う河川となっている。今後、三面汚染を変え、より親しみやすい河川にしなければ、ますます都市河川は汚れていく。結局我々の水道水がますます悪化する。現に親しみ、遊べるような多自然型の工事が各地で始まっていることから、たとえば、川越市の新河川などでも進めていく、この普及が望ましい。
- 本流以外の支流各河川を北からみていくと、市野川、都幾川支流のかぶつ川は、今年も汚れており、小川町、寄居町、嵐山町の下水道、合併浄化槽の未整備が原因で汚れている。平成7年度末時点の町田村下水道整備状況をもとに、これは県の西部、北西部に傾斜を示し、広範囲の公共下水道の設置が、資金的にも、また費用対効果の面から、不可能な以上、効果的な合併浄化槽、農林集排水の設置、普及が必要である。
- 越前川では、昨年、一昨年に比べ驚くべき水質悪化を示している。下流部の都幾川との落合橋、さらに八幡橋、入間川との落合橋でCODでそれぞれ2.0、5.0、5.0を出している。これまで汚れている河川は、今でも川の汚れたものもはきれいなのであるが、しかし、今後、生活排水の量、熊谷川との関連など、長期の調査が必要である。
- 飯盛川は昨年より汚れた結果をみせ、鶴岡市、坂戸の行政、市民に強く訴えていきたい。また、大谷川は、今年は着目した結果を示している。比較的水量が多かったため、ここも継続的な調査が必要である。汚いといわれていた大谷川が市民団体、住民、行政の努力で少少づつきれいになっていることは、不老川と同じく高く評価される。
- 入間川も前回の調査で汚れている。飯盛川の出間川で2ポイント、下流の川越市2ポイント、COD0.0を出している。昨年、2は1箇所だけであっただけに残念である。飯盛では、連発などの増加、下水道処理の未整備が指摘されているだけに、今後対策が必要である。しかし、この数値のケースは河川に連続するが、県の西部、北西部に共通な傾向だけに、根が深い問題である。
- 入間川支流の鹿川は、公共の調査でも、汚れが指摘されていたが、その通りの結果となった。
- 入間川支流の児玉町を走る小山川も新規に参加していただいた。ここも下流に行くにつれて、汚れてきており、公共の調査でも汚れが指摘されたが、その通りの結果となった。

Table with 5 columns (A-E) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).

Table with 13 columns (A-M) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).

Table with 13 columns (A-M) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).

Table with 5 columns (A-E) and 7 rows (調査地点, COD, PH, NH4, NO2, 汚濁性指標EC, におい, にごり) for the Arakawa River (荒川).